

TEAM FUKUOKA NEWS 2023

福岡県選手団ニュース R5. 9.19 Vol.1

**特別国民体育大会「燃ゆる感動かがしま国体」会期前競技がいよいよ開幕！**

9月16日（土）より、鹿児島県において特別国民体育大会会期前競技が開幕した。バレーボール（ビーチバレーボール）、体操（新体操・トランポリン）に本県選手団が出場した。

ビーチバレーボール少年男女、厳しいコンディションの中でも、気迫に満ちたプレーで善戦！！

大崎町ビーチスポーツ専用競技場（鹿児島県大崎町）にて開催されたビーチバレーボール。雲一つない晴天に加え、砂浜の照り返しによって、灼熱のコートとなった厳しいコンディションで試合が行われた。

少年男子は松下道一選手（築上西高校）・井手上陽斗選手（八幡高校）が出場し、1～2回戦を順当に勝ち進んだ。迎えたベスト8を懸けた千葉県との試合。本県が、粘りのプレーでリードを奪い優位に試合を進めていたが、終盤に逆転を許し、惜しくも3回戦（ベスト16）で敗退となった。

少年女子は田原杏奈選手・坂本莉緒選手（共に八幡高校）が出場し、2回戦で山形県と対戦した。田原選手がコート上の誰よりも声を出し、それに応えるように坂本選手も気持ちのこもったプレーを見せたが、相手の高さある攻撃力が本県を上回り、残念ながら2回戦で敗退となった。

熊丸修二監督のコメント

厳しいコンディションの中、選手たちは本当によく頑張った。昨年の栃木国体では男女共に初戦敗退であったため、今回少年男子が勝ち上がることができたのは今後に繋がる。県内におけるビーチバレーの競技人口はまだまだ少ないため、普及にも力を入れ、更なるレベルアップを目指していきたい。

体操（新体操）、華やかな演技で会場を沸かせるも、上位入賞ならず！

西原商会アリーナ（鹿児島市）にて開催された体操（新体操）。大会1日目の個人戦の結果が2位と、非常に良いスタートを切ったが、2日目の団体戦で思うように得点が伸びず、10位となり惜しくも上位入賞を逃した。

演技終了後、上級生の選手達は「練習してきたことが思うように発揮できなかった。下級生に次の大会で、今大会の悔しさを晴らしてほしい」と語ってくれた。

体操（トランポリン）、力強い演技を見せるも、男女ともに上位入賞ならず！

西原商会アリーナ（鹿児島市）にて開催された体操（トランポリン）。午前中に行われた予選では、女子種別の徳永伊織選手（福翔高校）はミスのない演技を行ったが、残念ながら15位となり決勝進出を逃した。

続く男子種別の石田孝選手（金沢学院大学）は、予選で5位となり、好順位で決勝進出を決めた。決勝でも予選同様に力強い演技を行うも、演技終盤のミスが影響し、入賞を逃す悔しい結果（11位）となった。



ビーチバレーボール福岡県選手団



新体操福岡県選手団（中村学園女子高校）



徳永選手



石田選手

特別国民体育大会福岡県選手団結団式を開催！

9月8日（金）アクション福岡にて、特別国民体育大会福岡県選手団結団式が開催され、県スポーツ協会会長である服部誠太郎知事より、旗手を務めるウエイトリフティング競技の安藤周幹選手（八幡中央高校）に県旗が授与された。また、ローイング競技の山崎晴華選手（東筑高校）が、選手団を代表して決意表明を行った。



服部知事と安藤選手



決意表明を行う山崎選手